



3月 つくし詞 /五十野惇

- (1) つくし だれの こ すぎなの こ
- (2) つくし はるです あそぼう よ

学生のブログコメントから

これ、歌だったのですね！なんとなく一番だけは知っていましたが、歌詞で2番が有るとは！それにしても短～い（笑）でも、ほのぼのする良い歌です♪

3月 ほら みんな みんな詞 /五十野惇

- ★ ほら きの えだの つぼみが
ほらふくらんだ よ
ほら おひさまの ひかりに
ほら みんな みんな わらいだした



3月 てんとうむし

詞 /五十野惇

- (1) うえ うえ うえ てんとうむし のぼる
「わりばしに のぼらせ つかまえろ」
- (2) うえ うえ うえ てんとうむし のぼる
「わりばしの てっぺんから にげた」

学生のプログコメントから

てんとうむしで昔遊んだことがあります。本当に上に上にてっぺんまで上るんですよね。なんか面白くて何度もやっていた覚えがあります。でもてっぺんまで上るととんでっちゃうので、こどもたちにこのうたで、てんとうむしの性質が教えてあげられると思うのでいいなあと思いました。

テントウムシといえば、あの黒い斑点7つの、七星テントウですよね。子どもたちに「テントウムシ」を自由にお絵かきしてもらって、どんな模様がかけたかみんなで見てみたいです。そのあと実際にテントウムシを探しに散歩に出かけて、本物のテントウムシがどんな模様かを子どもたちと確かめに行きたいです。

てんとう虫がつかまらないように必死に逃げている様子が目に浮かびます(^^)てんとう虫はおひさまに向かって飛び立つところから『天道虫』と書くらしいです♪素敵ですよ〜っ☆彡 前にてんとう虫は先端がないと飛び立てないという事を聞いた事があります!!ほんとかわからないんですけど・・・(笑)だからてんとう虫はうえにうえにのぼるのかなあ?? 太陽に向かって★やっぱり太陽ってすごい!!

アブラムシを食べてくれる益虫というイメージしかなかったてんとうむしですが、その名前は天道様の虫と書くんですね。色が赤々としてツヤがあって、綺麗だからかと思いましたが、上へ上へと のぼっていく習性があることをこの記事で知りました。この習性も関係しているのかもしれないね。

てんとうむしの上に登っていく習性を表した歌で面白いと思いました。てんとうむしは見るのは可愛いと思うが飛んできたらびっくりします！

てんとうむしが一生懸命上へ、上へと登っていく様子が思い浮かびました。私も小さい頃わりばしや棒を使っててんとう虫を葉っぱから連れてきて登るのをじーっと見ていたなと思い出しました。子どもたちにもそういう機会を与えることが大事だと思いました

てんとうむしを捕まえたいと子どもたちが言っていたらこの季節のお話をしてあげたいなと思いました。てんとうむしを捕まえながら口ずさんだりしたら楽しいんじゃないかと思いました。

てんとうむし役と捕まえる役を決めて、ゲームができると思いました。ゲームの後は、実際にてんとうむしが割り箸を上るか観察すると良いと思います。

工作のときに子供がてんとうむしの絵を描いたかぶりものを作ってみんなで順番に歌いながら平均台を割ったって行く遊びができてとても面白いと思いました。



3月 う し

詞 /五十野惇

- (1) めうし よ たんと あおくさ たん たん おあがり
- (2) めうし よ たんと おちちを たん たん だしとくれ

学生のブログコメントから

たんと♪ってところが好きです。なんだか優しいお母さんって感じがしますね。

「うしさんがあおくさをたくさん食べると、おちちがたくさんでるように、みんなも大きくなれるようにご飯をいっぱい食べようね!!」と子ども達にご飯を食べることの大切さを教えてあげられると思います。

お母さん牛が子供たちにおちちをあげている様子が浮かんできます。『たん たん おあがり』っていうところとか お母さんの思いが感じました。子供たちに、食べる大切さを教えてあげたいです。

お母さん牛が子牛をととても大事にしている場面が頭に浮かびます。この歌を読んでいると、ほのぼのしちゃいます!!

「たん たん」という表現から優しさを感じました。たくさん食べることは人にも牛さんにも大切なことだよ、とこの歌を通じて子どもに伝えたいなと思いました。

子どもたちがめうしになって、この歌を歌ったらとっても楽しい気持ちになると思います。

ぶた なにかな あのね

詞 /五十野惇

- (1) この ぶた たべる
おはしを もたないで たべる
なにを たべて いるの
- (2) この ぶた のむ
のみものを くちで のむ
なにを のんで いるの
- (3) なにかな あのね



「あのね」の後が気になります。とても子供が好きそうな可愛い歌詞なので幼稚園などで一緒に歌うと盛り上がりそうだと思います

ぶたは何を食べているんだろ～なんか不思議な感じがして気に入りました。ブタは可愛いですね。特にこぶた!! 飼いたいです笑

この歌を見て思ったことは、ブタは何をしているか子ども達に聞いているような気がしました。たしかにブタを見るとこのような疑問が浮かんできます。そのため子どもに対して質問するのにいい歌だと思います。

みんなよく知っているぶたさん。でも何を食べているのか、何を飲んでいるのか実際はよくわからないので気になりました。9頭も産むんですね！すごいです！

みんなで楽しく歌える歌だと思います。この歌を実際に使って、子供たちと何を食べてるか飲んでるかのクイズができると思います。

3月 も も （作詞 /五十野惇

ほら きの えだの つぼみが
ほら ふくらんだよ もも
おひさまの ひかりで もも わらったよ

3月 きの えだから はるが

つちの なかから はるが

詞 /五十野惇

- (1) きの えだから はるが
きの えだから はるが
まんさくの つぼみ
ねこやなぎの つぼみ
ももの つぼみ
- (2) つちの なかから はるが
つちの なかから はるが
わらびの め
ふきのとうの め
ぜんまいの め



3月 おおいぬのふぐり

詞 /五十野惇

- (1) かな？
どこの どこから おちて きたの かな？
おおいぬのふぐり
ほしのくに から かな？ かな
- (2) かな？
どこの どうして のびて きたの かな？
おおいぬのふぐり
ほしのくに から かな？ かな

学生のプログコメントから

「かな？」というところがかわいいと思いました。子供たちと一緒におおいぬのふぐりについて考えたりできるんじゃないかと思いました。

かな？という言葉が子どもが好きそうな言葉だと思いました。おおいぬのふぐりの花の特徴が分かる歌で、花の名前を覚える勉強にもなると思います。

星の国と表現しているところが神秘的で気に入りました。何よりも、『かな？』という表現が可愛くて子供が気に入ると思います。そういえば、オオイヌノフグリという花の名前を始めて見ましたが綺麗な花なんですね！

かな？のところがとっても可愛いと思いました。子供たちと遊びながらこの歌で花の名前を覚えたいと思いました。きれいな花でびっくりしました。

おおいぬのふぐりは春になるとよく見かける花なので、子どもと外に出る時に見つけたらみんなでこの詩を思い出して歌ったりしたら面白いと思いました。

オオイヌノフグリという花をはじめて見ました。ほしの国から来たという表現の仕方がか

わいらしいと思いました。

ほしのくにから、というところが何だかとても好きです。かな〜？と子どもたちと一緒に言いながら歌いたいです。

子育てコラム

名作「アルプスの少女ハイジ」のふるさと、デリフリ村を取材で訪ねたことがあります。アルムの山のふもと、白樺の林に囲まれた公園には、物語を記念して記念碑「ハイジの泉」がありました。自然石にハイジの上半身が型どられ、ハイジは、子羊のそばで、山からわき出る泉の上にかがみこんでいました。しかし、それにしても、なんとまあ、男の子のような顔なのでしょう！まるで、桃太郎を女の子版にしたようなたくましさ。

私は、この自然石のハイジを見ながら、いつまでも変わらない「自然児を求める」人々の願いを知ったような気分になりました。

そのことは、今どきの子ども達に、単純には受け入れがたいとは思いますが、この度のノーベル賞に輝いた先生の中にも「もっと自然となかよしに！」とあります。

このコラムも今回で最後となりますが、毎回のように動物植物、生きものとの関わりから人との関わり、つまりそれが「心豊かな子育てコラム」に繋がっていくヒントになるんとお話をさせていただきました。

その動物植物、生きものとの「かかわり」とは、子ども達が遊びを通して何かにひらめいた時、それを何かの形に置き換えること。この連載では動物植物、生きものの言葉（詞）としました。まさに「はじめに言葉ありき」です。

ですから、その言葉を通して身近な自然に触れる機会を増やすようにしながら、子育てを楽しんでもらうようお話をしました。

3月 「いえるよ、いえる」 詞 /五十野惇

(一) これが つぼみ
 これが はな
 これが み
 これが たね
 いえるよ いえる 「つぼみ はな み たね」

- (二) これが は
 これが えだ
 これが くき
 これが ね
 いえるよ いえる 「は えだ くき ね」
- (三) それから それから いえるよ いえる